

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第13期11月度理事会議事録

- I. 日 時：平成27年11月29日（日）13:15～16:30
- II. 場 所：東京都港区 TKP田町カンファレンスセンター B1会議室
- III. 出席者数：理事総数20名 出席理事数20名（内委任出席4名）
- IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、鈴木公（副理事長）、赤松利恵、上西一弘、川久保清、河野美穂、酒井徹（第64回学術総会会長）、下浦佳之、瀧本秀美、塚原丘美、名和田清子、新澤祥恵、南久則、村山伸子、八木典子、由田克士、荒川義人（委任出席）、石田裕美（委任出席）、笠原賀子（委任出席）、川島由起子（委任出席）
- その他の出席者：早淵仁美（第62回学術総会会長）、柳元和（倫理指針検討WG委員長）

V. 理事長就任挨拶

本年11月1日付で就任した武見ゆかり理事長から、NPO第13期・14期の活動目標と方針について配付資料により説明があり、この方針を合意した。

〔活動目標と方針〕

- 短期目標（NPO第13期・14期）：学会活動の見える化の促進と、実践栄養学の研究推進体制の整備。そのために、本部事業と支部会活動との連携強化。
- 中期目標：栄養管理（Nutrition Care）の現場からの科学的根拠づくりと、社会への発信の強化
- 長期目標（Goal）：実践栄養学の学術としての確立

VI. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、赤松利恵理事及び川久保清理事を選任することを全員異議なく承認した。

VII. 審議事項

【I. 庶務関連事項】

1. 今期の役員体制
2. 次期評議員候補者の選出
3. 理事選出方法の見直し
4. 今後の会議予定

【II. 財務関連事項】

1. NPO第13期経費執行状況
2. NPO第13期会員（会費納入）の状況

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況
2. 栄養学雑誌編集委員会事務局の常置化
3. 出版事業
 - (1) 管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム2015準拠教科書シリーズ
 - (2) 栄養学実践用語集
 - (3) 初めての栄養学研究論文
 - (4) 食事調査マニュアル

【IV. 学術関連事項】

1. NPO第13期事業執行状況
2. 平成28年度学会賞・奨励賞の選考
3. 第62回学術総会事業報告
4. 第63回学術総会準備状況
5. 第64回学術総会準備状況
6. 第65回（2018年）学術総会会長候補者の推薦
7. 管理栄養士の教育のあり方委員会について

8. 学術関連の新規活動内容について
9. 倫理指針検討WG報告
10. 利益相反マネジメントの対応
11. 関連学協会等との連携
 - (1) 22nd IUNS International Congress of Nutrition (22nd ICN) 協力
 - (2) 国立大学法人東京大学総括プロジェクト機構総括寄付講座「食と生命」、ネスレ栄養科学会議、ネスレリサーチ東京「食と生命のサイエンス・フォーラム」後援
 - (3) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部「第18回脂質栄養シンポジウム」後援
 - (4) 日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会「第10回子どもの食育を考えるフォーラム」後援
 - (5) 一般社団法人臨床栄養実践協会「設立記念セミナー」後援
 - (6) 一般社団法人日本健康教育学会「2015年度ワークショップNCD予防に向けたヘルスプロモーションアプローチのためのアドボカシー（政策提言）スキル向上セミナー」後援
 - (7) 公益社団法人日本看護協会・ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ「第12回ヘルシー・ソサエティ賞候補者募集」周知協力
 - (8) 乳の学術連合「平成28年度学術研究公募」周知協力
 - (9) 笹川スポーツ財団「2016年度笹川スポーツ研究助成募集」周知協力
 - (10) 京都大学学際融合教育研究推進センター「学術分野ごとの『文化』の比較調査」周知協力
 - (11) 公益財団法人日本食品化学研究振興財団「平成28年度研究等助成対象者募集」周知協力
 - (12) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会大豆のはたらきin名古屋」後援御礼・開催報告
 - (13) 国立研究開発法人科学技術振興機構「データベース学会名鑑リニューアル」通知

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業
 - (1) 更新報告
 - (2) 見直し
2. メールマガジンの検討

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会の活動方針
 - (1) 22nd ICN（2021年開催）への協力
 - (2) IUNSワークショップへの協力
 - (3) 社団法人大韓地域社会栄養学会との学術交流
 - (4) 国際協力活動
 - (5) 人材育成

【VII. 支部会報告】

1. 北海道支部会
2. 東北支部会
3. 関東・甲信越支部会
4. 北陸支部会
5. 東海支部会
6. 近畿支部会
7. 中国支部会
8. 四国支部会
9. 九州・沖縄支部会

【VIII. 回覧資料による各種報告】

1. 機関リポジトリへの登録許諾
 - (1) 東京家政大学図書館
2. 学会誌転載許諾

(1) 株式会社メディカルレビュー

3. 複写に係る著作権使用料の分配報告

(1) 一般社団法人学術著作権協会

Ⅷ. 議事の経過の概要及び議決の結果

【Ⅰ. 庶務関連事項】

1. 今期の役員体制・・・平成27年11月1日付の役員と評議員（支部会別）の名簿が配付され、理事の所掌・担当について確認した。各種委員会委員は前回理事会で承認された委員も含めて資料が配布され、これを承認した。本理事会で承認された委員会は次のとおりである。国際活動推進委員会は本学会事業の国際的な活動を推進することを目途に新たに組織することが説明され、実際の委員会活動を踏まえて必要な細則を整備することを了承した。

〔栄養学雑誌編集委員会〕 瀧本秀美（編集委員長）、由田克士（副編集委員長）、新井英一、荒井裕介、衛藤久美、岸田恵津、栗木清典、小林実夏、酒井治子、塚原典子、外山健二、野末みほ、藤井紘子、山内淳、山崎聖美、横山徹爾、上西一弘（編集顧問）※編集委員長、副編集委員長は9月24日開催の平成27年度通常総会で承認されている。

〔学会賞等選考委員会〕 本件は前回理事会で承認されたが、承認された委員長が他の委員会の職務と兼務となったため、新たな委員長候補が提案され承認された。なお委員は学会賞等に関する細則第12条6項により非公開とする。

〔管理栄養士の教育のあり方委員会〕 武見ゆかり（委員長・理事長）、赤松利恵、狩野恵美子、川久保清、木戸康博、杉山みち子、田中清（日本栄養学教育学会推薦）

〔倫理指針検討ワーキンググループ〕 柳元和（委員長）、青江誠一郎、稲山貴代、上西一弘、栗木清典、佐々木敏、長澤伸江、野口孝則、横山徹爾、吉ヶ江治道

〔国際活動推進委員会〕 村山伸子（委員長・国際担当理事）、石田裕美、加藤久典、吉池信男

2. 次期評議員候補者の選出・・・次の選出スケジュールを承認した。正会員数を基準に算出した支部会別評議員数が配付され、次期評議員候補者選出にあたり、この評議員数を目標とすることを確認した。

〔選出スケジュール〕

2月下旬 栄養学雑誌第74巻第1号発送（次期評議員候補者推薦依頼）

3月1日 推薦依頼文書送付（全評議員、日本栄養士会長）

3月1日 次期評議員（候補者）就任承諾の確認文書送付（細則第3条第1項該当評議員）

4月8日 推薦締切

5月 理事会（次期評議員候補者選任の議）

9月7日 評議員会（次期評議員候補者選任の議）

9月7日 28年度通常総会（次期評議員選任の議）

11月1日 評議員就任（委嘱状送付）

3. 理事選出方法の見直し・・・現行の指定職（厚生労働省）、指名理事等の課題が提起され、見直しの方向性が説明された。これを了承し、次回理事会で細則改定案を審議することとした。指定枠（日本栄養士会推薦）は現行どおりと考えるが、推薦母体（日本栄養士会）の意向を下浦理事（指定枠理事）が確認することとした。

4. 今後の会議予定・・・平成28年1月以降の会議予定が配布された。主な予定は次のとおりである。

〔総会〕 9月7日

〔評議員会〕 9月7日

〔理事会〕 2月20日、5月（日付は未定）、8月20日

〔監事会〕 8月20日

〔役付理事打合せ〕 1月23日、4～5月（日付は未定）、7月（日付は未定）

【Ⅱ. 財務関連事項】

1. NP0第13期経費執行状況・・・11月19日現在の経費執行状況（活動計算書、貸借対照表、事業別損益計算書、収支計算内訳書）が配付資料により報告された。

2. NP0第13期会員（会費納入）の状況・・・11月17日現在の支部会別会員数が配布され、今期も減

少傾向であることが報告された。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況…平成27年の投稿数は、本日現在42件であることが報告された。投稿数の増加と事務手続きの簡素化に向けて、投稿時に支払う査読料を廃止し、変わって雑誌掲載確定後に掲載料を徴収する投稿規定の改定案が配付された。原案の掲載料（3,000円）に対して、論文の審査から掲載までにかかる費用（査読謝礼や英文校閲）が指摘され、掲載料は5,000円（税別）とすることとし、投稿規定の改定を承認した。
2. 栄養学雑誌編集委員会事務局の常置化…本学会の主要事業である栄養学雑誌の刊行にかかる事務の安定と効率を図るため、従来、編集委員長の下に設置した編集委員会事務局を学会本部事務局に常置することが提案され、これを承認した。常置にあたり編集事務の一部を業務委託することが提案され、学会誌刊行事業にかかる過去3年間の決算と今期予算、委託した場合の試算が配布された。審議の結果、栄養学雑誌を発行しているレタープレス株式会社への委託を承認した。
3. 出版事業…次の本学会監修書籍が紹介された。「初めての栄養学研究論文」は本年4月1日に施行された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準ずるべく改訂作業を進めている旨、説明があった。
 - (1) 管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム2015準拠教科書シリーズ
 - (2) 栄養学実践用語集
 - (3) 初めての栄養学研究論文
 - (4) 食事調査マニュアル

【Ⅳ. 学術関連事項】

1. NP0第13期事業執行状況…11月19日現在の事業執行状況が配付資料により報告された。
2. 平成28年度学会賞・奨励賞の選考…次の選考日程を承認した。過去5年間の選出状況が配布され、推薦件数が極めて少ない実態を確認した。支部会、編集委員会からも積極的な候補者の推薦を期待する旨、理事長から発言があった。

[選考日程]

2月22日	候補者推薦依頼文書送付（全評議員）
2月下旬	栄養学雑誌第74巻第1号発送（学会賞・奨励賞候補者推薦依頼）
3月25日	推薦締切
4～5月	学会賞等選考委員会
5月	理事会（受賞者決定）
3. 第62回学術総会事業報告…事業概要が配付され、これを了承した。会計報告は現在整理中である旨説明があった。
4. 第63回学術総会準備状況…準備状況が配布され、これを了承した。
5. 第64回学術総会準備状況…平成29年9月上旬にアスティ徳島を主会場として計画を進めていることが報告され、これを了承した。徳島文理大学に会場協力を要請しているが、学内行事が優先されるため、実施の2年前にあたる現時点での確約が難しい旨、補足された。
6. 第65回（2018年）学術総会会長候補者の推薦…担当の北陸支部会から富山県での開催で調整している旨、説明があった。NP0第10期5月度理事会で承認された平成36年開催までの、学術総会開催地の支部会持ち回り順を、配布資料により確認した。
7. 管理栄養士の教育のあり方委員会について…新たに組織したこの委員会では、管理栄養士養成における教育のあり方にとどまらず、卒後教育を含めた「教育のあり方」をテーマに活動していきたい旨、説明があり、これを了承した。また理事長より、「管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠教科書シリーズ全体編集委員会」の活動についても、この委員会で引き継ぐことの説明があり、了承した。
8. 学術関連の新規活動内容について…NP0第13期・14期の活動として、①実践栄養学研究セミナーの見直し・充実、②研究倫理に関する体制整備・教育の充実、③利益相反マネジメントの対応方針の決定、④「生活習慣病予防その他の健康増進を目的とした食事」の推進のための取

組み検討、について配付資料により提案された。特に、実践栄養学研究セミナーは支部会との連携を図るため、支部長（あるいは各支部会の担当者）との意見交換の場を設けたいと考えている旨、説明があった。提案の趣旨を了承し、活動の具体化にあたっては今後の理事会で検討することとした。

9. 倫理指針検討WG報告・・・①6月25日に開催したWGの報告書、②第62回学術総会特別教育講演のレジメ、③武見理事長からのWGへの付託事項が配布された。社会的状況の変化を認識し、然るべく手順を整えて対応することを確認した。理事長から、来年の通常総会では本学会の方針を会員に示したい旨、発言があった。
10. 利益相反マネジメントの対応・・・まずは来年開催の第63回学術総会から利益相反の開示を実施できるよう「申し合わせ」を整備する方針が説明され、申し合わせ（案）が配布された。本学会の学術総会はUMINの演題登録システムを利用していることから、同システムでのCOIの扱い方法について確認することが提案された。第63回学術総会の演題募集は栄養学雑誌第74巻第1号に掲載されることから、本件も同号で周知を図ることとし、準備が整い次第、申し合わせ（案）の書面審議を行うこととした。
11. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。
 - (1) 22nd IUNS International Congress of Nutrition (22nd ICN) 協力
 - (2) 国立大学法人東京大学総括プロジェクト機構総括寄付講座「食と生命」、ネスレ栄養科学会議、ネスレリサーチ東京「食と生命のサイエンス・フォーラム」後援
 - (3) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部「第18回脂質栄養シンポジウム」後援
 - (4) 日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会「第10回子どもの食育を考えるフォーラム」後援
 - (5) 一般社団法人臨床栄養実践協会「設立記念セミナー」後援
 - (6) 一般社団法人日本健康教育学会「2015年度ワークショップNCD予防に向けたヘルスプロモーションアプローチのためのアドボカシー（政策提言）スキル向上セミナー」後援
 - (7) 公益社団法人日本看護協会・ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ「第12回ヘルシー・ソサエティ賞候補者募集」周知協力
 - (8) 乳の学術連合「平成28年度学術研究公募」周知協力
 - (9) 笹川スポーツ財団「2016年度笹川スポーツ研究助成募集」周知協力
 - (10) 京都大学学際融合教育研究推進センター「学術分野ごとの『文化』の比較調査」周知協力
 - (11) 公益財団法人日本食品化学研究振興財団「平成28年度研究等助成対象者募集」周知協力
 - (12) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会大豆のはたらきin名古屋」後援御礼・開催報告
 - (13) 国立研究開発法人科学技術振興機構「データベース学会名鑑リニューアル」通知

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業
 - (1) 更新報告・・・8月1日から11月20日までの更新情報が配布資料により報告された。
 - (2) 見直し・・・発信する情報ソースについて理事各位の意見を伺いたい旨、発言があった。
2. メールマガジンの検討・・・発信する情報ソース、メールマガジンのあり方（頻度、ボリューム等）について理事各位の意見を伺いたい旨、発言があった。理事長から、平成28年度会費請求時に併せて、メールアドレス情報の登録依頼を行う旨、説明があった。

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会の活動方針・・・NP0第13期・14期の活動として、次の5件について配付資料により提案され、これらの活動方針を承認した。

大韓地域社会栄養学会との学術交流について、11月19日から20日に開催された同学会2015年第20回学術大会と第6回日韓シンポジウムに参加した赤松理事から報告があった。また平成25年に同学会と締結した覚書が回覧された。

- (1) 22nd ICN (2021年開催) 準備への参画

- (2) IUNSワークショップへの協力
- (3) 社団法人大韓地域社会栄養学会との学术交流
- (4) 国際協力活動として、学校給食をテーマとした情報発信と現状整理
- (5) 人材育成として、上記活動の中での若手の育成

【VII. 支部会報告】

1. 北海道支部会・・・第13回支部会学術総会は山部秀子天使大学教授を学術総会会長とし、12月5日に藤女子大学で市民公開講座とともに開催する。
2. 東北支部会・・・東北支部会から提出された活動費の使途・範囲についての要望書が回覧された。これについて要望を受ける方向で調整することを了承した。また今回の要望を受けて、支部会に関する申し合わせの見直しを検討するため、各支部会からも意見を求めることとした。
3. 関東・甲信越支部会・・・第3回支部会学術総会は川島由起子聖マリアンナ医科大学病院栄養部参与を学術総会会長とし、3月12日に相模女子大学で開催する。栄養学雑誌第73巻第6号に掲載する開催案内が回覧された。
4. 北陸支部会・・・第11回支部会学術総会は原田澄子富山県栄養士会長を学術総会会長とし、2月21日に富山県総合福祉会館で市民公開講座とともに開催する。
5. 東海支部会・・・第5回支部会学術総会は丸山智美金城学院大学教授を学術総会会長とし、6月25日に金城学院大学で市民公開講座とともに開催する。
6. 近畿支部会・・・第14回支部会学術総会は岡崎眞畿央大学教授を学術総会会長とし、12月6日に帝塚山大学で開催する。
7. 中国支部会・・・第12回支部会学術総会は川上貴代岡山県立大学教授を学術総会会長とし、6月25日から26日に岡山県立大学で市民公開講座とともに開催する。
8. 四国支部会・・・第3回支部会学術総会は5月に開催すべく調整中である。
9. 九州・沖縄支部会・・・第3回支部会学術総会は藤井康弘別府大学教授を学術総会会長とし、8月22日に別府大学で市民公開講座とともに開催した。今回から一般演題を募集し5題の発表があった。次の開催地は福岡で準備を進めている。

【VIII. 回覧資料による各種報告】

1. 機関リポジトリへの登録許諾・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
 - (1) 東京家政大学図書館
2. 学会誌転載許諾・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。理事長からコメント付きの許諾とした経緯が説明された。
 - (1) 株式会社メディカルレビュー
3. 複写に係る著作権使用料の分配報告・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
 - (1) 一般社団法人学術著作権協会

IX. その他

参考資料として「特定非営利活動法人日本栄養改善学会理事会申し合わせ事項」が配布された。

以上